

寺報 信仰文化

通刊33号 行元寺発行

千葉県いすみ市荻原2136 ☎0470(86)3816
FAX 同上

花まつり

4月8日〈藤乗宗更師〉茶会

寺宝・文化財一般公開

4月8日～10日 9:00～16:00



左 不動明王像、右 毘沙門天像、中央 舜海法印像

塩田カメラ 常泉量敬氏撮影

鎌倉時代の遺宝

不動胎内に「天正17年」修復銘

十七年一月、県史料研究財団が行元寺仏像調査に来山、善光寺三尊はじめ、不動明王立像・毘沙門天像など調査した結果、特に毘沙門天像や不動明王像に「腰を強くひねり腹を突き出すなど体躯の動勢の表現に優れ、鎌倉彫刻の特徴を示すもの」とし、鎌倉期の制作と論評された。

銘を発見した。

これには「三学院東頭山行元寺第十七代祖師法印舜海修復之 仏所鎌倉扇谷住越中守作之」とあり、制作は遙かにさかのぼる。

これによつて剥落が著しい両仏像を河本雅史仏師に修復を依頼したところ、不動明王像の胎内に戦国時代の天正十七年（一五八九）三月十七日修復の墨書

（次ページに続く）

舜海法印によって 現在地に再移築

行元寺は約七百年前、当萩原の茶田谷に冷泉大納言と二階堂行元公によって再興された。したがって、「東頭山三学院無量寿寺」を、行元公の業績から、「行元寺」と改称した。

その後、平安期の作になる本尊阿弥陀如来立像、および両脇侍に加え五尊とするために、不動明王と毘沙門天の作成となった。須弥壇上に安置されているのが、この五尊である。

そのうえ判明したことは、萩原茶田谷から現在の場所に移築されたのが「天正十四年六月二日十七世舜海」によってなされ、舜海は中興の祖と仰がれ、不動明王像の作と同じ仏師、鎌倉法眼越中と弟子伊勢になる「舜海法印像」を今に伝えている。

煩惱を断ち切る 不動明王

不動明王は燃えさかる火焰を背に、左手に煩惱を縛る縄、すなわち羂索（けんさく）を

握り、煩惱を断ち切る意味から、右手に宝剣を持つている。さらに表情は怒り、つまり忿怒（ふんぬ）の面だちで、強い煩惱を持った人間を強引に屈服させようとする。

阿弥陀如来や観音菩薩のように、優しく慈愛にあふれた姿とは不動明王は逆といってよい。ちやうど母親がいくら優しく子どもを論してもわからない子に対して、ときに父親が雷を落とすに似ていよう。

邪鬼を踏まえる 毘沙門天

毘沙門天は七福神の一つで、勇氣と福を授ける神とされ、ギリシャの古代武士の紋様を革鎧に着け武装している。胸前に宝塔を捧げ、右腕に三鈷戟（さんこげき）を執って、沓（くつ）で邪鬼を踏まえ立つ。

この邪鬼のことを、「あまのじゃく」といって、人の心に棲みついている、人間の最大の敵である煩惱を表し、毘沙門天が撃退してくれる。だから邪鬼は苦しい表情を浮かべ

ているが、彫法に優れているのが行元寺の邪鬼の特色だとされる。

本堂正面の丸柱の葵の紋所下にも、毘沙門天の鎧の紋様が描かれていることから、行元寺の護り神であり、古来から詣でる者に勇氣と元氣、さらに福を授けてくれていることが理解できよう。

南総教区主催 比叡山団参

参加者
17・11・12、齊藤静 市原与作 古山忠正 渡辺謙雄
渡辺正文 大曾根清 清水賢一 渡辺八重子 渡辺久子
佐藤義子 佐藤菊江

西光寺本尊 檀徒寄進修復中



西光寺本尊と胎内仏
左方は修復中の河本仏師
一調査記録は次号一

西光寺檀徒の寄進で本尊修復中、仏師は河本雅史氏で、大きな胎内仏は珍しい。

大津プリンスホテルで 御詠歌全国大会

参加者
17・10・13、渡辺久子 土橋春子 大岩澄子 日置富子 市原佳子

台風12号 崖崩落見舞金芳名

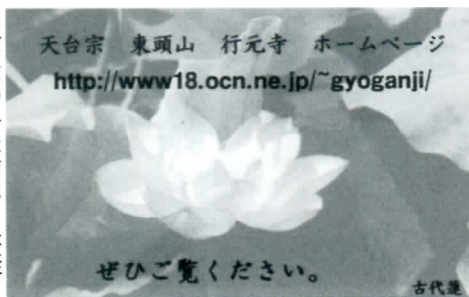
天台宗務庁 伊八会川越三郎、筑波大学教授 齊藤泰嘉、江戸彫刻研究学会 松田征男、茶道更和会 藤兼宗更、日本画家 久保木彦、阿部工業社長 阿部誠、田辺伊兵衛、西光寺 秋山篤田、錦昌曜、別

婦人部役員 (平成17年)

格本山宗光寺 村田頼田、大岩佳明、石塚博志、藤平貞夫、市原睦三ほか（順不同、敬称金額略）
また、伊八会當間隆代代表はじめ会員有志、江戸彫刻研究学会役員等、各方面に対処方を要望した。

部長渡辺照子 副部長塚越恵子 会計田中英子 秋葉光子 渡辺ふみ子 渡辺叔子 佐藤より子 中村きよ 浅野佳子 弓削マツ江 佐藤義子

天台宗 東頭山 行元寺 ホームページ
<http://www.18.ocn.ne.jp/~gyoganji/>



〈千葉愛子氏作成 提供〉

法灯を次世代へ！



文化財防火デーに 総代・消防隊訓練

主な行事・事業等 ―平成17年度―

- 5・15 総代、伝道師 花蓮掘り移植作業（秋葉政巳氏所有田借用）
- 6・4 総代、消防隊崖等草刈他
- 8・6 文化財防災ポンプ小屋完工
- 8・26 台風十二号客殿脇崖十五Mにわたって崩落、総代奉仕作業
- 9・28 御詠歌研修会一九〇名参加、一宮館（行元寺三〇余名研修）
- 10・13 御詠歌全国大会 大

- 津市、比叡山へ五名参加
- 10・29 菊花展 市原与作、塚越正雄、斉藤静諸氏奉納
- 10・30 文化財屋外消火設備竣工式 県・町・消防署、区長、消防団長、総代ほか参列
- 11・12 比叡山参拝団へ十一名参加
- 12・20 天然ガス対策会議（農村広場）荻原区役職、行元寺側四名出席
- 12・26 河本仏師、毘沙門天、不動明王像修復完工、開眼
- 1・22 除雪作業（総代有志文化財防火訓練 消防隊、総代、消防署五名ほか）
- 1・24 千葉県警察本部長、いすみ警察署長外四名来寺



比叡山参拝 16.10.7～

- 1・27 市、市民局・JR職員等見学コース作成につき来寺
- 2・5 総代 植木枝剪定作業、秋葉利恭氏植木こけ消毒
- 2・11 千葉日報主催七福神巡り百名、同社長ほか火渡行
- 2・19 総代 茅対策作業
- 2・21 田中荻原区長、市原責任役員等日宝興発KKへ崖崩落支援要望、太田いすみ市長、吉原部長、及川議長等に対策方挨拶
- 2・28 荻谷建設、本堂裏東寄り未工事場所工事着工
- 3・8 総代矛収納作業、伐採木等整理
- 3・20 河津桜三十本植樹
- 伝道師
- 3・28 日宝興発KK、室内ガス漏警報機十ヶ所設置



台風禍防災のため伐採 17.1.30

平成16・17年度 文化財保存防災事業

- 防火管理者に
渡辺正文氏を選任
消防計画書提出**
- 十七年十月十七日、檀徒総代会長の渡辺正文氏を防火管理者（消防法施行令第三条第一項に定める課程修了）に選任、消防署に届出の上、消防計画書を提出した。
- 自衛消防隊長 渡辺春義
- 消防ポンプ機器、消火栓、消火銃点検整備（三月 九月）
- 市原文男 秋葉清 岩瀬芳造
- 市原寛 牧野進（六月十二月）
- 土橋勇 斉藤文夫 渡辺春義 伊沢定男 佐藤宏（敬称略）
- 総合訓練 一月二十二日



総代土砂流出復旧作業 17.8.26～

特別 寄進者

一、向拝絨毯

（二回目交換17年12月）

小出インテリヤ

岬町 押日 小出道生様

一、大師打鳴布団 土橋春子様

屋外消火栓 消火銃 揚水機
電気配線 水道管敷設等

千葉県（補助額）三五〇万円

夷隅町（補助額）一七五万円

行元寺（負担額）一七五万円

「別途」崖崩れに伴う

消火栓移設費 十五万円

施工者

江沢防災設備有限公司

揚水機小屋建設等

行元寺（負担額）一五〇万円

施工者 福山鉄也

金剛界曼荼羅 正長2年（1429年）



行元寺の秘宝

4月10日まで公開



聖教 一部分一 永和4年（1378）7月

仏画と書跡

十六善神図 江戸時代



作者 等随（北斎と兄弟弟子）



胎藏界曼荼羅 正長2年（1429）7月



釈迦涅槃図 一部分一
嘆く動物や虫までも
江戸時代初期